

科目名：地域・在宅看護論概論	配当年次 1 年	開講時期 1 年後期
単位・時間： 1 単位 (30 時間)	授業の方法：講 義	
担当者： 吉野 里子	実務経験のある教員による授業 <input type="checkbox"/>	
授業概要 目的・到達目標	<p>超高齢化社会の到来による社会情勢の変化や人々の健康に対する考え方や健康生活への認識の変化により、在宅看護のニーズが増大した。様々な在宅看護に対応するため、在宅看護の背景を理解するとともに在宅看護の目的と機能について学ぶ。</p> <p>住み慣れた地域で暮らしていくため地域包括ケアシステムの保健・医療・福祉に関係する法律や制度を学び、それぞれの他職種の機能について理解を深める。また、地域包括ケアシステムにおける多職種との連携と看護の役割について学ぶ。</p>	
授業の計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人々の暮らしと地域・在宅看護の基盤となる考え方 2. 暮らしと地域を理解するための考え方 3. 地域包括ケアシステムと地域共生社会 4. 在宅看護の対象 5. 地域における暮らしを支える看護 6. 〃 : 看護師に求められる態度・知識・姿勢 7. 〃 : 広がる看護の対象と提供方法 8. 〃 : 地域における家族への看護 9. 〃 : 地域での暮らしにおけるリスクの理解 10. 〃 : 地域での暮らしにおける災害対策 11. 地域・在宅に関わる制度とその活用：介護保険・医療保険 12. 〃 : 訪問看護制度 13. 〃 14. 地域・在宅看護における多職種連携 15. 筆記試験・まとめ 	
成績評価の方法・基準	筆記試験 レポート	
テキスト	<p>【教科書】</p> <p>系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院 eテキスト 系統看護学講座 別巻 家族看護学 医学書院 eテキスト</p>	
履修上の注意事項	課題の提出は時間厳守すること。遅れた場合は減点対象となる。	

科目名：地域・在宅看護論方法論Ⅲ	配当年次 2年	開講時期 3年後期
単位・時間： 1単位（ 15時間）	授業の方法：講 義	
担当者：吉野 里子	実務経験のある教員による授業 <input type="checkbox"/>	
授業概要 目的・到達目標	<p>これまでの医療は病気を治すことに主眼をおき発展してきたが、急速な少子高齢化社会に突入し時代の変遷のなかで大きな転換を迫られ「終末期」という概念は、その人の生き方や最期の迎え方を含めてとらえる「エンドオブライフケア」へと移行し「生きることを支える看護」が提唱されている。</p> <p>エンドオブライフケアにかかわるすべての医療・介護専門職は苦痛を取り除き、人生の最期の時をおだやかにその人らしく迎えられるよう、質の高いケアを提供しなければならない。「その人らしく生きることを支える」ための看護の知識・技術・態度について学ぶとともに、ACP における倫理問題について理解を深める。</p>	
授業の計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅看護におけるエンドオブライフを支える看護の特徴と支援の方法 2. 対象の意思を尊重した看護の実践 3. その人らしく暮らすための治療と看護 4. ” 5. 在宅看護におけるエンドオブライフを支える家族の看護の支援 6. 在宅医療チームにおける多職種連携と看護師の役割 7. ” 8. 終講試験・まとめ 	
成績評価の方法・基準	筆記試験 レポート	
テキスト	<p>【教科書】</p> <p>系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院 eテキスト 系統看護学講座 別巻 家族看護学 医学書院 eテキスト 系統看護学講座 別巻 緩和ケア 医学書院 eテキスト 系統看護学講座 専門分野 脳・神経 医学書院 eテキスト</p>	
履修上の注意事項	課題の提出は時間厳守すること。遅れた場合は減点対象となる。	

科目名：地域で暮らす人々	配当年次1年	開講時期	1年前期
単位・時間：1単位（15時間）	授業の方法：講義		
担当者：曾川 恵子	実務経験のある教員による授業 <input type="checkbox"/>		
授業概要 目的・到達目標	<p>看護の対象となる人は今日まで暮らしてきた歴史があり、周囲からの影響を受け環境との相互作用の中で絶えず変化しながら生活を営む存在である。看護の対象を生活者として捉え、地域で暮らす人々の暮らしを知ることで、対象理解が深まり、対象のニーズに合った看護が初めて提供できる。</p> <p>地域で暮らす人々の暮らし地域社会の特性をふまえ様々な仕組みがつけられていることを理解し、健康的な生活を送るために人々が地域で支え合い暮らしていること学ぶ。また、地域で暮らす人々との交流を通し、地域・在宅看護における対象を理解するための必要なコミュニケーションについて理解を深める。</p>		
授業の計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の歴史や地理を把握と地域で暮らす人々の生活の実態 2. 生活環境が地域で暮らす人々の生活に与える影響 3. ” 4. 地域で暮らす人々の暮らし方の把握 5. ” 6. 健康的な生活を送るための地域社会の仕組み 7. ” 8. 発表・まとめ 		
成績評価の方法・基準	<p>筆記試験</p> <p>フィールドワークの態度・姿勢</p> <p>グループワークのレポート</p> <p>発表</p>		
テキスト	<p>【教科書】</p> <p>系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院 eテキスト</p> <p>系統看護学講座 別巻 家族看護学 医学書院 eテキスト</p>		
履修上の注意事項	課題の提出は時間厳守すること。遅れた場合は減点対象となる。		

科目名：家族看護学	配当年次 1 年	開講時期 2 年後期
単位・時間： 1 単位 (1 5 時間)	授業の方法：講 義	
担当者：山田 馨	実務経験のある教員による授業 <input type="checkbox"/>	
授業概要 目的・到達目標	<p>我が国は少子高齢化社会をむかえ家族の形も変化してきている。核家族が増え世帯人数も減り小規模化しており、家族の機能は脆弱化している。そのため、家族の中では対応しきれず社会で様々な問題が起きている。</p> <p>家族はもともと共に支え合い暮らしており、セルフケアの力を持っている。</p> <p>家族の力を最大限に引き出し家族全体の健康を支援するために、家族を理解するための理論や介入方法について学ぶ。</p>	
授業の計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 我が国の家族の変遷と現在の家族の特徴・社会生活への影響 2. 看護における家族の定義・家族を理解するための基礎理論 3. ” 4. 家族看護過程の全体像を把握 5. ” 6. 家族看護の現状を知り、家族看護の必要性 7. 家族看護における看護者の基本姿勢と役割 8. 終講試験・まとめ 	
成績評価の方法・基準	レポート 終講試験	
テキスト	<p>【教科書】</p> <p>系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院 eテキスト 系統看護学講座 別巻 家族看護学 医学書院 eテキスト</p>	
履修上の注意事項	課題の提出は時間厳守すること。遅れた場合は減点対象となる。	